

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立小林

学校

児童数

21

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.18	17.55	41.55	40.60	37.09	10.10	145.00	22.55	51.91
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	15.27	17.55	49.91	38.45	39.00	10.01	142.27	15.55	56.18
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

本校の体力合計点は、男女ともに大阪市の平均より高い。種目別では、男女ともに長座体前屈やソフトボール投げは全国・大阪市平均を上回っている。しかし、それ以外は全国・大阪市平均より低い。「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問に対する肯定的な回答をする児童の割合は、男子は全国・大阪市平均より高いが、女子は全国・大阪市平均より若干低い。1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合は、男女ともに全国・大阪市平均を上回っている。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

怪我の予防や運動能力の向上のために、体育の授業の導入では準備運動とストレッチを行っている。そのため、児童の柔軟性が高まり、様々な運動にスムーズに取り組めるようになっている。また、休み時間は運動場でドッジボールや鬼ごっこをすることで、投げる力や体力の向上にも繋がったと考えられる。質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」では、男子は「好き」と回答する児童の割合が100%であったが、女子は27.3%の児童が「嫌い」と回答している。今後も、多くの児童が運動やスポーツを好きになるように、楽しく体を動かす取り組みを継続して行っていきたい。